

# 【事業所職員向け】 放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表 令和6年3月31日

事業所名 はあとf+j小郡南

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員は、指導訓練や活動スペースとの関係で適切であるか	6	1	一人当たりの床面積としては、適切なスペースを確保している。稼働式テーブルで活動目的等に併せたスペースに変化できる。
	2	職員の配置数は適切であるか	4	3	基準人員は配置されているが、送迎の時間帯が重なると手薄になることがある。
	3	生活空間は、清潔で心地よく過ごせる環境になっているか	7	0	体調が悪い時に休息できる静養空間、静かな遊びのできる空間等、清潔で心地よく過ごせるように工夫している。
業務改善	4	アンケート調査を実施するなど、保護者等の意向を把握し、業務改善につなげているか	7	0	毎日の送迎時に、保護者の意向を把握するようにしている。親子行事等においても、アンケートを実施している。
	5	自己評価の結果をホームページで公開しているか	7	0	毎年、法人のホームページで公表している。
	6	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	6	1	法人の意向で、令和2年度に、当所を含めて3事業所が受審している。その後も順次、実施されている。
	7	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7	0	定例研修が毎月様々なテーマで実施されている。他の障がい事業所との合同研修も行っている。
	8	事業所の目的及び運営規定の内容を十分に理解しているか	6	1	運営規程が閲覧でき、定期的にミーティングで確認しあっている。新人職員には、ガイドライン、運営規程等を配布して、周知に努めている。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	0	年度末に次年度についての保護者面談も実施している。子どもの特性、発達の段階、保護者様のニーズ等を把握した上で計画の作成を行っている。
	10	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜に組み合わせた支援に努めているか	6	1	適時に組み合わせているが、個別支援は、必要な子どもを優先している。
	11	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	6	1	ガイドラインに沿って、いくつか組み合わせるようにしている。
	12	平日、休日、長期休暇の別に応じて、課題を細やかに設定し支援しているか	7	0	休日や長期休みの時は、時間が必要なことやその時にしかできないことを設定している。時々、年代別、発達状況などグループ化による支援も行っている。
	13	自然に触れる機会を設けるなど、季節の変化に興味を持てるよう、豊かな感性を培っているか	7	0	お花見、プール、果物狩り、初詣等、季節に合わせた行事や体験を通じて、興味を持てるよう努めている。
	14	地域の行事やイベントに参加するなど、地域との交流を図っているか	7	0	コロナも少し落ち着いたこともあり、社会経験の幅を広げていくためにも、地域との交流を増やす必要があると感じる。
	15	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われているか	6	1	支援計画に沿った、支援を心掛けている。支援と遊びの割合が課題である。
適切な支援の提供	16	支援開始前には職員間で、その日の支援内容や役割分担について確認しているか また、支援の振り返りを行い、職員間で共有しているか	6	1	毎日のミーティングで、支援内容や分担、振り返りを共有し、共通理解に努めている。
	17	その日行った支援の手順、子どもの反応や気付きに関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7	0	行動の変化、成長、支援内容など見落とさないように意識している。
	18	サービス担当者会議には、その子どもに精通した職員が参画しているか	7	0	主に児童発達支援管理責任者が担当している。

関係機関や保護者との連携	19	学校との情報共有(行事予定等の交換、下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡等)を適切に行っているか	7	0	送迎時、日頃から担当教員と情報交換しており、連携をとっている。
	20	送迎時や連絡帳を通じて、日頃から子どもの様子を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題等について共通理解を持っているか	7	0	送迎時、連絡帳、LINE等によって随時情報共有を行い、共通理解をもてるようにしている。
	21	保護者会や親子行事を開催しているか また、時に兄弟姉妹や祖父母、障害のない子供たちが参加できるように努めているか	7	0	今年度は、秋まつりを開催した。親子・兄弟姉妹も参加した。お菓子まきを行い、地域の子どもたちもたくさん参加した。
保護者への説明責任等	22	運営規定、支援の内容、人員体制、利用者負担、苦情処理の手順、緊急時の連絡体制等を丁寧に説明しているか	7	0	利用契約時には、できるだけ時間をとって室内案内も含め、丁寧に説明すると共に保護者の話もよく聞くようにしている。
	23	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	0	連絡帳やLINE、また電話や面談などを通じて、できる範囲で応じている。
	24	保護者等からの苦情について、苦情受付担当者、苦情解決責任者、第三者委員の存在が周知されているか また、苦情があった場合は、迅速かつ適切に対応しているか	7	0	苦情があった場合は、事実確認を行い適切に対応するようにしている。 なお、担当者、責任者及び第三者委員について重要事項説明書に掲載している。
	25	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を発信しているか	7	0	写真掲載のおたよりを2カ月に一度発行し、毎月イベントカレンダーを発行している。また、毎週インスタグラムへの投稿をしている。
	26	個人情報に十分注意しているか	7	0	写真や氏名の掲載や担当者会議の対応その他について、事前に同意書を得ている。 インスタグラムへの投稿は、児童の顔を伏せている。おたよりの掲載時も必ず保護者の同意を得ている。 職員は守秘義務について誓約書を法人に提出している。
	27	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や、情報伝達のための配慮をしているか	7	0	聴覚障害の子どもや保護者には、手話・筆談・絵カード等で対応している。
	28	健康状況の急変、感染症や食中毒などが生じた場合の連絡、処置方法等に関するマニュアルが作成され、職員に周知しているか	7	0	感染症、緊急処置などは、法人の定例研修でも行われている。 マニュアルも用意されている。
非常時等の対応	29	各種マニュアルは見直ししているか、策定日や変更日が記載されているか	6	1	見直すことが必要で、そのためにも日付も必要である。
	30	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7	0	児童への啓発として、防災に関する訓練を行っている。 訓練が年2回行われ、利用日によっては一度も参加できない児童もいるため、回数も含めて工夫が必要である。
	31	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7	0	責任者の選定、研修の実施、委員会の開催、指針の整備など運営規程に定めている。
	32	ヒヤリハット事例集を作成して、事業所内で共有しているか	7	0	医療安全委員会で他事業所の事案も共有、事故につながらない工夫をしている。
	33	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	7	0	保護者と密に連絡をとっている。薬の保管、体温を測ったり、職員全員が誰でも対応できるようにしている。
	34	食物アレルギーがある子どもや、食事制限の子どもについて、保護者と連携して対応しているか	7	0	アセスメントシートに記入してもらっている。 卵アレルギーの児童は、保護者におやつを用意してもらっている。 制限のある児童は、事前に摂取量を保護者に確認して対応している。